



毎年の夏休みが終わった後の常とう句ですが、長いと思った夏休みも終わってみるとあっという間でした。(今年は特にあっという間だったように感じました。)皆さんはどうでしたか?行動制限はありませんでしたが、コロナ感染症の蔓延と各地で記録的短時間大雨の夏でもありました。

そんな中ですがそれぞれの家庭で、出来る範囲の有意義な夏休みを過ごすことが出来たのではないかと思います。夏季保育もイレギュラーなこともありましたが、子供たちは元気に園に来ることが出来ました。2学期はいろいろな活動があります。またみんなで楽しく取り組んでいきましょう。



わくわく 運動遊び —認知能力と非認知能力—



鳩山幼稚園の子供たちは毎日様々な場面でたくさん体を動かして遊んでいます。幼児期に体を動かす楽しさを味わうことは、生涯を健康に過ごす上で重要です。幼児(子供)は保育者(教師)や友達と一緒に運動遊びをする中で、諦めずになんげたり友達と力を合わせたりするなど、体だけでなく心も動かして遊びます。これによって体だけでなく心や社会性の発達に寄与し、人間を成長させる大切な学びの機会となります。幼少期の「運動遊び」は大きな効果をもたらします。

近年、保育・教育の現場では「認知能力」と「非認知能力」が大切とされています。

「認知能力」とは、言語の理解、判断、記憶、推論などで一般的に知識・理解など数値化できるような能力であり、「非認知能力」とは自己肯定感、気力、自己管理できる力、コミュニケーション力など、メンタル面や社会性などのことをいいます。この2つの能力の下支えがあって、真の「学力」と「生きる力」に繋がっていくと考えられています。

多くの経験をする事で非認知能力を高め、たくさんの活動を通して獲得した経験や知識から認知能力を高めていきます。諸調査によりますと、「非認知能力」が後の「認知能力」の向上に影響を与えることを明らかにしています。そして、体力レベルが高いほど、非認知能力が高く、幼児の体力レベルの高低は、活発な運動遊びの積み重ねによるところが大きいということです。ただ、非認知能力の向上を目指すにはトレーニング的なもの(あるいは早期教育的なもの)ではなく、幼稚園で先生や友達と一緒に活発に遊ぶことの繰り返しが、子供たちの体だけでなく、脳や心も発達させ「何事にもがんばれる力」を心身ともに育み、将来における自己実現する力に繋がっていくということです。

そこで、子供たちが運動遊びに夢中になるための工夫としかけとして、次の6つを岐阜大学の春日先生という方が挙げています。

1. 動きや操作できるようになる。(成功体験)
2. 次々に挑戦する課題がある。(スモールステップ)
3. できるようになったことを認められ、褒められる。
4. 勝負の楽しさを体験する。(真剣勝負)
5. 遊びを通してよい友達関係を構築する。
6. ルールや遊び方を自分たちで考え、創造する。

これらをいろいろな運動様式(遊具系、かけっこ系、ボール操作系、ジャンプ系など)を保育者(教師)が子供たちに提供し、子供たちに多様な動きを身に付けながら運動機能を伸ばしていくことが大切です。



元気っ身体操
大きくジャンプ!

【幼児教育じほう 8月号参照】

さて再度、日々をふり返ってみると、鳩山幼稚園ではこの6つは毎日の活動の中で当たり前のようにやっています。これからも子供たちを見つめ、つぶやきに耳を傾け、子供の興味・関心を継続させながら、本園の特色である『体験活動を大切にしたいのびのびとした教育』で子供たちを育て伸ばしていきたいと考えています。

2学期、まずは運動会を目標に「わくわく 運動遊び」、取り組んでいきます。

活動の流れ <9月>

時期	さくら組	にじ組
9月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの楽しかったことを先生に話す。 防災訓練に参加する。 折り紙でうさぎを折る。 秋ジャガイモを植える。 交通安全教室に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの楽しかったことをみんなの前で発表する。 防災訓練に参加する。 秋ジャガイモを植える。 交通安全教室に参加する。
9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に向けて体操や運動会の歌を歌う。 かけっこやダンスの練習をする。 ダンスに使う道具を作る。また、未就園児へのプレゼント製作をする。 全員でダンスの練習をする。 田んぼ体験(稲刈り)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に向けて運動会で披露する技やダンスを練習する。 運動会で使う入場門を相談して作る。 リレーの練習をする。 さくら組の練習の手伝いをする。 全員ダンスの練習をする。 田んぼ体験(稲刈り)をする。 運動会の手伝いの役割分担を決める。
9月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 園庭でにじ組と一緒に運動会の練習をしたり、見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 園庭で運動会の開会式や競技の練習をする。
10月初め	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会に参加する。 折り紙でトンボを折る。



<8月のピジョっこファーム通信>



ピジョっこファームにたくさんキュウリが採れたので、1回目の収穫物は隣のひばり保育園にあげました。次からの収穫は、保護者の皆さんにお知らせをしたところ1回目は5件のお家でもらいに来ました。2回目もたくさん採れたので、また連絡をしましたが、もう飽きてしまったのか誰も来ませんでした。(T_T)

8月の終わりには、すっかり枯れてキュウリは黄色く大きくなっていました。記録的な大雨で流されそうになっていた黒大豆は持ちこたえ、花が咲いていました。自然の力と生命力です。

<夏休みのピジョっこフォト>

夏季保育恒例のミニ夏祭りです。水風船のヨーヨー、的あて、お化け屋敷など楽しい催し物を準備しました。この日は幼稚園評議員さんにも見学してもらいました。



夏休み最後の8月22日(月)から25日(木)は、子供たちの2学期に向けての心の準備も含めて、夏季保育が行われました。幼稚園に来ている子供たちは皆元気に過ごせたようで、プールやミニ夏祭りを楽しんでいました。また、26日(金)は保護者の皆さんに園庭の除草をしてもらいました。全家庭数の半数強のお家が参加してくれました。平日でしたが、何軒かは両親で来てくれました。感染症の関係もあり短時間で終わらせました。協力してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。